

－令和7年度　ふるさと考古学講座－



フランス・パンスヴァン石器製作ワークショップ風景

●第1回：令和8年1月22日（木）14時～15時

「フランスの石器研究最前線

—パンスヴァン石器製作ワークショップ2025に参加して— 大場正善

*フランスは、石器の実験考古学研究が盛んであり、旧石器時代から新石器時代までのさまざまな石器製作技術が解明されています。今回、当センター職員がパリ南東近郊にある著名なパンスヴァン遺跡で開催された、石器製作実験考古学のワークショップに招聘され参加してきました。そのワークショップの内容についてお話しします。

●第2回：令和8年2月27日（金）14時～15時

「『山形の宝マップ』のデータを利用した遺跡位置図のつくり方」 高桑 登

*山形県遺跡地図が掲載されている「山形の宝マップ」のデータを利用して、発掘調査報告書用の遺跡位置図を作る方法を、当センター職員がお話しします。

●第3回：令和8年3月11日（水）10時30分～12時（予定）

「前期旧石器研究の回顧と展望—自身の研究を振り返りながら—（仮）」

東北学院大学教授 佐川正敏氏

*当センターの発掘で度々調査指導を頂いた東北学院大学の佐川正敏教授から、ご専門の旧石器時代について、東アジアにおける初期人類に関する研究についてお話し頂きます。

会場：(公財) 山形県埋蔵文化財センター 多目的ホール

一般にも公開します。電話・メール・FAX等で事前にお申込みください。

【お問い合わせ先】 公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター
企画担当：須賀井・後藤
〒999-3246 上山市中山字壁屋敷 5608 番地
TEL：023-672-5301 FAX：023-672-5586